

須恵

2013
186号
AUGUST

平成25年8月5日発行

発行／須恵町議会 所在地／〒811-2193

須恵町大字須恵771番地

TEL／092(932)1151(内線411議会事務局)

FAX／092(933)6579



おいし〜くに
焼けてる♪



6月定例会 主な内容

2869万円増額 平成25年度一般会計補正予算を可決 **2▶**

ここが聞きたい (一般質問) **4▶**

なんばしようと? (須恵区秋まつり) **12▶**

表紙シリーズ／未来を担う子どもたち「パン教室」

なんば しようと? 第9回 地域の特色

須恵区秋まつり

須恵町の地域の特色や伝統行事等を紹介し
ます。そこで今回は、「須恵区秋まつり」っ
てなんばしようと?



昨年の様子



吉松 末彦 さん

吉松 義廣 さん

吉松 正幸 さん

阿部 照信 さん

須恵区秋まつり実行委員会会長の吉松
義廣さん、副会長の吉松正幸さん、区長
の吉松末彦さん、分館主事の阿部照信さ
んにお話を伺いました。

歴史

須恵区秋まつりは、昭和63年に県の健
康づくり推進事業として始まり、26回の
歴史を数えます。
しかしながら、それまで地域に古くか

賑わう会場

ら残ってきた行事や、健康と五穀豊穡へ
の願いが、今の秋まつりに結実したとも
言えるようです。

須恵区秋まつりは、毎年10月の第2日
曜日に開催されます。(今年は13日)

夕刻、開祭とともに子どもみこしが元
気いっぱいに出発。

舞台ではブラスパンドの演奏、もちま
き、子どもにわか、舞踊、歌唱、組合対
抗の演目など盛りだくさん。

ユニークなのは野菜コンテスト。これ
は春に実行委員会がさつまいもの苗を参
加者に配り、いかに立派にまたは独特に
育てたかを競います。

また、広場いっぱいにはバザーが開かれ、
行列ができる店もちらほら。

まつりは千人を超える人出で賑わいま
す。

今年のテーマは「学び、支え地域づく
りの秋まつり」。

少し涼しくなった秋の夜に、子どもた
ちでたくさん賑わうお祭りに参加してみ
ませんか。

※会場は巡原広場のぼり旗を目印に。

編集後記

今年梅が大豊
作の年でした。
私も庭の梅を収穫
し、初めての梅酒づ
くり挑戦しました。

そこで梅を調べると松竹
梅の意味ができました。

「松」は針葉樹で寒さに強
く、冬でも葉を落とさず青
々と緑を保てる木。「竹」

は、真っ直ぐに伸び、節を
持つ為に風雪でもシナリ、
折れることのない木。「梅

」は冬の寒さに耐え、百花
に先がけて花を咲かせる木
とされ、「歳寒三友」とい

い、それが日本に伝えられ
たものだそうです。

「松竹梅」が本来意味し
ていることを自分と結び付
けて、しっかりと学習・活動

していくことを心がけてい
きたいと思っています。

百田 輝子

発行責任者

議 長：三角 良人

広報特別委員会

委 員 長：今村 桂子

副委員長：合屋 伸好

委 員：百田 輝子

委 員：田ノ上 真



中嶋 裕史 町長

今年度より、須恵町のコミュニティは、三校区同時に事務局長を加えた新体制となりました。本町では、平成の声とともに「生涯学習によるまちづくり」を提唱。その集大成としてコミュニティ事務局を設置し、官民協働事業を教育部局中心に展開してきました。

現在では、環境・福祉・防災・防犯など、教育部局以外での取り組みや検討も始まり、組織や事業体系の再構築の段階に来ていると考えています。

校区コミュニティは「地域自治

より身近な「行政区単位」で進められた方が、良い事業もあるので、地域課題の内容に即して、行政区と小学校区で検討・選択しながら、より質の高い事業を展開していく必要があると考えます。



平松 秀一 教育長

平成24年度の事業の成果として、生涯学習を理念とした地域コミュニティによる学校支援・オアシス運動・生活規範指導員制度の定着・成長の足あとカルテの定着など、須恵町が推進する「社会教育と学校教育が連携した教育システム」について、有識者から高い評価をいただきました。

しかしながら、教育行政全般で見ると、まだまだ課題も多くあります。

社会教育においては、子供会育成会の活性化、体育協会を核とした生涯スポーツの活性化、文化協

会を核とした文化事業の活性化と若年層の参加増対策、学校施設や社会教育施設を利用したジュニアスポーツの在り方の研究などです。

学校教育においては、生活規範指導の更なる充実と学力向上への取り組みが挙げられます。

学力に関しては、昨年末から本年1月にかけて実施した実力テストにおいて、全国平均を上回る成績を上げることができました。さらに各校における足りない部分の分析を的確に行い、一人でも多くの児童生徒に解る喜びを与え、学習意欲を高めることが大切であると思っています。

今後も、「教育施策に掲げている「心の教育」を柱としながら、「安心して住める町」「住んでよかったと思う町」「子育てするなら須恵町で」を実現するために教育関係のみならず、あらゆる団体と連携・協力しながら夢の実現に向けて取り組んでまいります。

今後のコミュニティの方向性

の核」として、その裾野を広げ、行政・住民・地域団体・企業等が協働して地域サービスを供給する「新たな公共づくり」を目的に活動しています。校区コミュニティとの協働政策や事業を立案するには、行政各課も主体的に関わりを持ち、検討することが求められています。

校区コミュニティの目的は、様々な地域課題を解決し、校区単位の住みよいエリアを構築することです。そのためには、様々な課題や問題を「校区単位」で捉え、地域にとって必要なものを精選し、事業を展開する必要があります。

さらなる学力向上への取り組みを

会を核とした文化事業の活性化と若年層の参加増対策、学校施設や社会教育施設を利用したジュニアスポーツの在り方の研究などです。

学校教育においては、生活規範指導の更なる充実と学力向上への取り組みが挙げられます。

学力に関しては、昨年末から本年1月にかけて実施した実力テストにおいて、全国平均を上回る成績を上げることができました。さらに各校における足りない部分の分析を的確に行い、一人でも多くの児童生徒に解る喜びを与え、学習意欲を高めることが大切であると思っています。

2869万円を増額

予算総額は78億4869万円に

全員賛成で可決

◇平成25年度一般会計補正予算 かやの保育所解体等

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2869万4千円を追加し、総額がそれぞれ78億4869万4千円となりました。

歳入では、民生費国庫負担金が4872万円、県支出金（自殺対策・畜産振興・荒廃森林再生事業および教育費に対する補助）が297万4千円の増額となったほか、基金繰入金では国庫支出金の増額補正等に伴い、基金の取り崩しを2300万円減額しています。

歳出の主なものは、かやの保育所解体工事および駐車場の農地復旧工事請負費1600万円、県道志免須恵線の道路建設記念碑建立工事請負費130万円、南幼稚園のエアコン購入費120万円、第一学童保育所建築工事請負費400万円の増額等となっています。

◇平成24年度一般会計補正予算 基金を取り崩すことなく

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億6719万8千円を減額し、総額がそれぞれ81億3504万1千円となりました。

今回の補正は、決算見込み額の精査により、町税および地方交付税の増額が見込めること、各特別会計に対する繰出金の確定、寄附金の増額、歳出の不用額の減額等により平成24年度予算の最終調整を行うものです。

歳入においては、財政調整基金と減債基金の繰入れを減額し、最終的に基金の取り崩しは行わないこととなりました。

その他の議案

議案名	可・否
平成24年度須恵町国民健康保険特別会計補正予算（専決処分）	全員賛成で承認
平成24年度須恵町公共下水道事業特別会計補正予算（専決処分）	全員賛成で承認
須恵町税条例の一部改正（専決処分）	全員賛成で承認
須恵町国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）	全員賛成で承認
糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合規約の変更	全員賛成で可決
須恵町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	全員賛成で可決
須恵町子ども・子育て会議条例の制定	全員賛成で可決



開会を宣言する三角議長

6月
定例会

今後も健全な財政運営を

平成25年第2回定例会は、6月14日から21日までの8日間で行われ、提案された議案10件は、原案のとおり可決・承認されました。また、陳情1件が採択されました。

ここが聞きたい！



答弁中の中嶋町長

一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をだし、報告や説明を求めることです。

世界一安全・安心な町

再任用制度の活用を要望

問 安倍首相の施政方針演説で、国民の生命と財産を断固として守る「強靱な国づくりも急務です」とおっしゃっています。

須恵町の足元である須恵交番に、お巡りさんが常駐しておられません。急ぎの用は粕屋警察署に繋がる直通電話がありますが、直接会って、お尋ねしたいことなどがあって

も、何度伺っても留守です。この様な状態では、町民の方々も困っておられるのではないのでしょうか。町役場から粕屋警察署に常駐して頂くよう要請願います。

答 中嶋町長



田原 重美 議員

須恵交番の現在の勤務体制は、常駐2名の3交替制で6名が勤務しています。町内の危険箇所等の巡回時には、不在の場合があります。勤務員の増員は困難です。しかし、退職者の再任用制度を活用し、昼間だけ1名の常駐ができないか、交番連絡会議や安心・安全まちづくり協議会等の中で要望していきたいと思えます。

随時対応

問 れいんぼー保育園にはトイレが1カ所、女子42名に女子用5器で、特に女子のトイレは行列ができています。早急に対処願います。

南幼稚園では園舎が暑くて困っています。あと2台エアコンの設置をお願いいたします。

昨年12月議会の町長答弁では、南幼稚園で平成26年4月より3歳児保育および完全給食を同時に実施できるとのお話でした。現場では、町の方から何も説明されていないと疑問の声が上がっています。

答 中嶋町長

幼保一元化の狙いは、須恵町の子供である以上、幼稚園、保育所という分け方をしないで、同じ環境の中で育てようという構想です。開園したれいんぼー幼稚園も、幼稚園の中に3つのトイレがあるとい

う解釈です。エアコンについては、今回補正で1基増設し、他の教室にも今後増設を考えています。給食については、園内に給食室を設置し、委託を検討しており、26年度中に完全給食が出来るよう準備します。



南幼稚園

幼児教育施設の設備は

利便性の向上に期待

マイナンバー制でどう変わるか

問

本年5月24日マイナンバー法が可決成立し、平成28年1月からの施行となります。国民一人一人に番号（マイナンバー）が割り振られることで、複数の制度にまたがった行政サービスや情報の把握が容易になり、行政の効率や住民の利便も良くなると言われています。

その一方で、個人情報の漏

答 中嶋町長

平成28年1月から順次利用開始が想定されていますが、自治体にはどのような形で施行するか情報は、まだ来ていません。

えい・なりすまし等の問題も報道等で指摘されています。このマイナンバー制の導入によって、今後の町民の生活がどのように良くなっていくのか。また、指摘される問題についてどのような対策をとっていくのかお伺いします。



田ノ上 真 議員

行政としては、税・年金・所得の問題など、簡素化され、正確でスピーディーな対応ができるという利便性があります。個人においては、確定申告等の際、

各種証明書の添付を省略できるほか、マイナンバーのカード1枚で、年金手帳・健康保険証・介護保険証として使用可能になり、非常に便利になると思われます。個人情報の漏えい・なりすまし等の問題がありますが、国としては、情報システムに

与える影響に関する調査、研究の会を設置し、地方公共団体の既存システム改修および情報提供ネットワークシステムへの円滑な接続に関する基礎資料を収集することにより、対応策を検討する予定になっています。



内閣官房作成のリーフレットより

町政を問う！

一／般／質／問

※質問の全文を記載しています。



答弁中の中嶋町長

愛犬家のマナーなんかならないか

継続的に巡回・監視を行う

問 町の人からの苦情です。毎朝毎夕、犬を散歩に連れ出しておられる方の不始末だと思われませんが、町のあちこちに犬の糞が散らばっているとのこと。例えば小学生の通学路にも犬の糞が散らばっています。うっかりすると踏みそうになるので下ばかり見て歩かないといけません。我町には須恵

町飼い犬・猫のふん害等の防止に関する条例がありますが、あまり効果がないようです。そこで提案しますが、防犯も兼ねて通学路やガード下（レインボー道路）などに監視カメラを設置してはいかがでしょうか。このことについて、いかがお考えをお尋ねします。

答 中嶋町長



百田 輝子 議員

本当に情けない人たちが増えてきたなと思います。条例化までして啓発していますが、なかなか減りません。条例には、罰金や違反者の公表などを載せていますが、ふん害を出さないことが目的です。監視カメラ設置

については、現在、不法投棄対策として数台設置していますが、設置費用やメンテナンス費用が必要になります。防犯を兼ねてということですが、設置場所や町全体に必要となれば、相当額の事業費となり、

難しいと思われます。条例が設置されてからは、少し改善されていると思います。今後は地道に、町の職員等による巡回を行い、監視していきたいと思えます。



路面看板



立て看板

町づくりの新展開を望む

バランスの取れたまちづくり

問 志免〜須恵線の延長によるスマートインター西側周辺の開発は、須恵町の政治、経済を一転する起爆剤となりうるか？

地域コミュニティが成熟し、子供からお年寄まで、語り合い助け合う、人々が住みたい、住んで良かったと思う様な須恵町をずっと夢見ています。充実感はまだありません。

小さくとも商店や企業が元気で活力があり、若杉山のすそ野に広がる特定地に農業の振興を図るバランスの取れた産業の育成が求められています。大胆なる改革施策の実現を問う。

答 中嶋町長



藤石 豊 議員

本町のまちづくりについては、地域を開発して活性化させることと自然を保護し農業を守るという相反する2つに分けられると思います。この2つについては、平成25年度より従来の建設産業課を地域振興課（農地を守り、保護し、農業を振興する）と都市整備課（土地を開発し

自立ある財政収入を得ながら地方自治体を整えていく）という二つの課に分けました。地域の開発については、スマートインター周辺をどうするのかということになります。現在整備中の志免須恵線については工事が遅れています。9月には開通する見込みです。道路の周辺にはドラッグストアやホームセンターの

建設計画もあり、開発には行政も入り、方向性を定めながらやっているところ。また、農業に関しては、開発をする西側地域と、自然を保護していきこうとする東側地域とがバランスのとれた形で、安心、安全また便利という意味を含めた住みよいまちづくりをやりたいと思っています。



開発が進む西原周辺

周辺地域の発展を

県道志免須恵線の全面開通が目前に



JAやすらぎ会館

スマートインター

現在工事中

平成25年9月 全面開通予定

須恵スマートインターチェンジのアクセス道路「志免須恵線」の全面開通が、いよいよ目前に迫りました。筑紫野〜古賀線のバイパスとして、以前町道だったものを、県道に認定するところから始まって約5年余り、着工からは約3年が経ちましたが、工期は少々長引きましたが、今年の9月中には供用開始ができそうです。周りに、企業や店舗等が進出し、様変わりを見せ始めています。須恵町の市街地のひとつとして発展することを願っています。



総延長 L = 1.1km



開通に向け工事が進む志免須恵線

一／般／質／問

どげんなっとうと?

待機児童対策と保育士確保は

保育士増員で対応

問

新しい社会インフラとして、働きながら子供を育てる環境を整備し、安心して生み育てることができる社会が求められています。須恵町では、れいんぼ一幼児園の開園により、待機児童の解消が期待されていましたが、蓋を開けてみると待機児童が増えるという結果になりました。少子化とはいえ、

女性の社会進出にともない、今後ますます待機児童の増加が予想されます。また、保育士の確保も深刻な問題となっています。

来年度から、南幼稚園の3歳児保育がおこなわれますが、今後の待機児童対策と保育士の確保等について、町長のお考えは。

答

中嶋町長

今年度、東幼稚園とかやの保育所を廃止し、れいんぼ一幼児園を開園したことにより、待機児童の緩和が出来るのではという予測をしていました。しかし、今年の4月1日現在は41名(募集時では約80名)の待機児童がいます。

今年度は町立幼稚園の園児が以前に比べ130名増の361名になり、予測を超えた増加となっています。大きな施設をつくりましたが、依然、待機児童の解消までいたっていません。

今年、第一学童保育所を第一小学校の校庭内へ移設する案件が議案で出ていますが、元の建物で待機児童の一時預かりのような施設として利用できないか、子ども教育課で検討し、関係機関との協議を進めています。

保育士確保は、来年度、再任用を含め、3名の採用を予定しており、できればあと数名の臨時雇用を考えています。



今村 桂子 議員



4月に開園した「れいんぼ一幼児園」

長年の功績に表彰状

糟屋地区議長協議会
在職10年表彰

三角 良人 議長
原野 敏彦 副議長
三上 政義 議員
今村 桂子 議員
合屋 伸好 議員

町議会議員として、長きにわたり町政の振興発展に貢献された功績に対して5議員が表彰を受け、6月21日、議場において伝達式が行われました。
今後、これまで培ってきた経験を活かし、夢のあ「町づくり」「地域づくり」にご尽力いただきたいと思っております。



後列左より 三上政義議員 今村桂子議員 合屋伸好議員
前列左より 三角良人議長 原野敏彦副議長

議 | 長 | 通 | 信

Chairperson Communication



三角 良人 議長

ご飯のありがたさ

政府が3月、TPP（環太平洋パートナーシップ）協定交渉への参加を表明しました。詳しくは書けませんが、TPPには、食の安全安心・医療・食糧農業・外国企業からの訴訟・自動車等が含まれます。特に農業（米の輸入）に対し、JA中心に参加反対が表明されており、米の関税がなくなり輸入が拡大すると、国内の米の生産が減少し、多機能を有す水田の保全ができなくなりますが、私事ですが、先月、S状結腸憩室穿孔を患い入院しました。手術後しばらくは

点滴で、その後三分、五分七分粥から普通食に食事が変わってきました。点滴を受けているときは、体に力も入らず、自分自身のこれから先の事など、どうでもいいやという感じでしたが、ご飯を食べだすと日に日に元気を取り戻し、気力も高まつてきました。
やはり、日本人は米を食べなければと思いましたが、それも安心できる国産米をTPP交渉がどうなるかわかりませんが、米だけは守られるよう、政府には努力をしていただきたいものです。

固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴う須恵町固定資産評価審査委員会委員に

ちかよし
渡邊 親善 氏 (恵西区・66歳)

が選任され、再任に議会が同意しました。
任期は、平成28年7月31日までです。

シリーズ 議会用語

「議事日程」とは？

議長が議事整理権に基づいて定めるその日の会議の進行に必要な進行表のことです。開議の日時、審議する内容や順序等が記載されています。

陳情

「より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書」提出を求める陳情書

(全員賛成で採択)

お詫びと訂正

議会だより185号に誤りがありました。
◇表紙(目次)
一般質問
① 4(ページ) ② 8(ページ)
◇2ページ
平成25年度各会計当初予算の表中単位
① 億 ② 億
お詫びして訂正いたします。

お知らせ

町議会の活動状況を知るために、どなたでも傍聴できます。申し込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。(予約不要)
なお、次の定例議会は9月6日からの予定です。

有害鳥獣被害対策を考える

総務建設産業委員会 視察レポート

◇平成25年6月3日

宗像市外2市1町

鳥獣加工処理施設を視察



施設前にて

近年、当町でも有害鳥獣による被害が増加していることを受け、総務建設産業委員会、鳥獣加工処理施設を視察しました。
この施設は、急増するイノシシなどの有害鳥獣被害対策として、宗像市・福津市・宮若市・岡垣町の3市1町が共同で設置しており、処理を引き受けることで捕獲を促し、イノシシやシカなどの被害を減らす目的で設けられました。
管理運営は、宗像市外2市1町ジビエ生産組合に業務委託し、利用者は3市1

町に住所を有し、捕獲免許、食品衛生法規定に基づく資格を持った120名の会員です。
施設内の設備も、解体に必要な道具や備品が備えてあり立派なものでした。
処理内容は、加工処理と残渣処理に分けられ、平成24年度(2カ月)のイノシシ搬入実績は、加工処理が48頭、残渣処理が73頭との報告でした。
残渣処理は産業廃棄物として処理を委託していますが、ドッグフード・肥料等に使用できないかの研究と、宗像市単独の取り組みとして、イノシシ肉の販売が計画検討されています。



施設内

注 ジビエ(gibier フランス語) 狩猟によって、食材として捕獲された野生の鳥獣

すえち未来ちか

交互に100回あおごう!
先におねがいね!



No.21

作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。http://www.wooco.net/